

計測制御エンジニア会 主催

「2008年度計測制御エンジニア講座」開催報告

JL 0006/09/4806-0534 © 2009 SICE

計測制御エンジニア会主催による計測制御エンジニア講座は、今回で3回目を迎えます。一昨年より計測制御エンジニア受験予定者に限らず、計測制御エンジニア既認定者および学生を含む計測制御技術に興味のある方全員を対象としました。

ガス業界・石油業界に続き、今回は、自動車分野における計測制御技術の役割と重要性・最先端の技術紹介、および最新研究開発施設・実験試作現場の見学を企画しました。

以下に講座の概要を示します。

- ①計測制御エンジニアの役割について：江木紀彦君
- ②自動車における制御技術の重要性：金井喜美雄君
- ③先進技術開発センター見学：
- ④4輪アクティブステアの制御技術：安野芳樹君
- ⑤自動車駆動用モータの高調波制御技術：吉本貫太郎君
- ⑥ITS分野での制御トピックス：赤津洋介君
- ⑦Nissan GT-R開発における計測技術：大西孝一君
- ⑧SICEにおける講座・資格等のご紹介：坂本・淵

午後からは、日産自動車(株)先端技術開発センターの研究開発施設見学が実施され、普段は見られないような技術開発の生の現場を見学させていただきました。



午後の講義では、機械的なステアリングの技術に始まり、電気的な自動車駆動用のモータの高調波制御技術・安全性向上に関する計測制御技術・最後にGT-R開発における計測技術が紹介されました。



< 講演所感 >

江木計測制御エンジニア会会長の「計測制御エンジニアの役割について」では、理念と共に技術伝承・後継者の育成・計測技術の活躍する新規分野に関して説明されました。

金井先生からは、おもに軍事用に開発された技術が民間の航空機をはじめとし、自動車技術へスピンオフされた数々の技術を中心に紹介されました。特にアクティブ制御技術による設計思想の転換では、制御技術によって制御対象が設計されるという計測制御エンジニアが元気になるような講義が印象に残りました。

人類の科学技術の集大成である自動車関連の先端技術を紹介していただき、人間の命を預かって物理的に動いている自動車の技術の奥深さを改めて感じた1日でした。

最後になりましたが、本企画のアレンジおよびご熱心な説明をいただきました日産自動車の塚本様・長門様には、お忙しいにもかかわらず、私たちのためにお時間をさいっていただきまして、ありがとうございます。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

(計測制御エンジニア会：淵 昌彦)

(2009年4月8日受付)